

## 発達障害のある方への歯科診療のヒント —視覚支援編—

発達障害（自閉スペクトラム症、知的障害、学習障害、注意欠陥多動性障害）のある方は、「言葉を聞いて理解するのが苦手」「イメージが持てない」「行為の意味や目的がわからない」「見通しが持てない」などの理由から、歯科診療への協力が得られにくいことがあります。

このような場合に、患者さんの理解をサポートし、不安や混乱を防いで歯科診療に適した行動がとれるように情報を提示する方法として**視覚支援**があります。

### ✓ 視覚支援における構造化

視覚支援では、今どこで何をやる時間で、次はどうなるのかなど、場所や空間の持つ意味や予定を視覚的にわかりやすく提示する“構造化”が大切です。代表的な構造化には以下の3つがあります（表1）。

表1 構造化の種類

| 物理的構造化                                    | スケジュール                               | ワークシステム                     |
|---|--------------------------------------|-----------------------------|
| 「どこで何をやるのか」を視覚的に提示する。不必要なものが視界に入らないようにする。 | 「いつ、何をやるのか」、「はじまり」と「おわり」などを視覚的に提示する。 | 「何をどれくらいやるのか」を視覚的に提示する。     |
| （例）間仕切りカーテンや個室の利用、不要な物を片づけるなど             | （例）実物、写真、絵カード、文字、シンボルなど              | （例）キッチンタイマー、数を数える、リストや終了箱など |

### ✓ 視覚支援媒体の種類

構造化で用いられる視覚支援媒体には、写真や絵カード、文字リストなどがあります（図1～3）。媒体は、一人ひとりの特徴や理解力に合わせて選択することが大切です。患者さんの特性や日常生活でどのような視覚支援を用いているのか等、保護者や介助者に確認するとよいでしょう。



図1 写真・絵カード

写真やイラストを用いて、どの情報に注目すれば良いのかがわかりやすく提示する。縦や横に手順を並べたり、リングに閉じて終了したカードをめくりながら使用する。文字と組み合わせるのも良い。

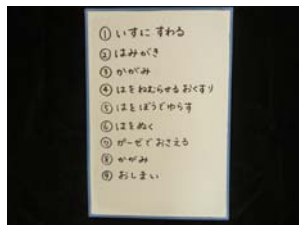


図2 文字リスト

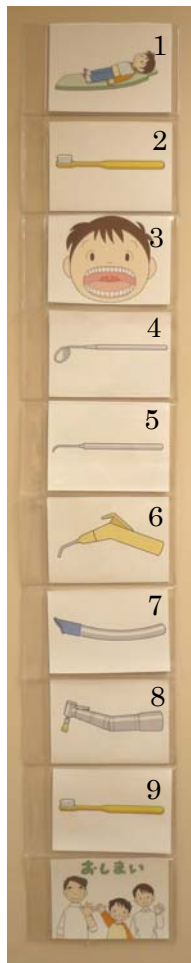
手順を文字で表す。ホワイトボードに書く場合は、終了した項目を消していくと視覚的に理解しやすい。



図3 視覚支援アプリ

コミュニケーションや生活支援のための視覚支援アプリもある。伝えたいことや手順を絵カードで表現できる。

## 絵カードを用いたトレーニングの一例



使用した絵カード



スケジュールを提示

今日の予定を説明します。1番 イスに寝る・・・9番 歯ブラシで終わります。

診療前に、その日に予定している一連の手順を絵カードを見せながら説明し、先の見通しを持たせる（スケジュール）。



器具を見せて説明

・・・次は4番の鏡を使います。10数える間、お口の中でやってみましょう。

間仕切りカーテンをして集中しやすい環境をつくる（物理的構造化）。TSD法やカウント法も併用し、何をどのくらい行うか理解させる（ワークシステム）。



終了した項目は「おわり」箱へ

上手に出来ました。では、4番 鏡の絵カードを終わり箱に入れてください。

終わりの区切りを明確にするため終了した項目は「おわり」箱に入れる（ワークシステム）。



課題が達成できたことを賞賛

・・・9番 歯ブラシまで終わりました。最後までよく出来ましたね！

課題を達成したら十分に誉める。良い行動を強化し、次回の診療につなげる。

### 【当センターで使用している絵カード（一部紹介）】

|      |     |         |      |      |         |           |       |        |
|------|-----|---------|------|------|---------|-----------|-------|--------|
|      |     |         |      |      |         |           |       |        |
| 挨拶   | 水平位 | 歯ブラシ    | ミラー  | 探針   | コントラブラシ | 3way シリンジ | バキューム | 終了     |
|      |     |         |      |      |         |           |       |        |
| 浸潤麻酔 | 開口器 | ラバーダム防湿 | タービン | 印象採得 | 咬合紙     | エックス線撮影   | 抜歯    | 抜歯後の注意 |

[この絵カードは当センターのホームページから無料でダウンロードできます→](#)

都立口腔 広報

検索

視覚支援は、言葉による説明よりも視覚的な情報の方が伝わりやすい発達障害のある方の理解を助け、その方がもつ本来の力を引き出すことができる有効な手段です。歯科診療場面においても上手に活用することで、患者さんと医療者との距離を縮め、スムーズな歯科診療につなげることができます。しかし、発達障害のある全ての患者さんに視覚支援が有効というわけではなく、また、適する支援方法も画一的ではありません。一人ひとりの能力や特徴に合わせた配慮や工夫で、歯科診療への適応をサポートしていきましょう。

参考図書 東京都立心身障害者口腔保健センター：スペシャルニーズデンティストリー・ハンドブック，一社出版，2015。

堀江まゆみ，他：発達障害のある人の診療ハンドブック，NPO 法人 PandaA-J，2009。

東京都立心身障害者口腔保健センター